

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】リーダーシップ論		
担当者(Instructors)	船木 恵一	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
現代社会において組織・集団などさまざまな場面でのリーダーシップの発揮が期待されており、リーダーシップを有する人材が求められています。本講義では、リーダーシップ論に関する多様なアプローチを紹介し、基本的な知識を学びます。また、成功するリーダーの条件や、リーダーと組織、個人と集団の相互影響について考察してゆき、これからのあるべきリーダー像を考察してゆきます。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	毎回主要なテーマ（問い）を設定し、問いに関する回答及び関連する知識を講義形式にて説明・学習します。学生は予習・復習することによって、テーマに関する理解をより深めることができます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ブリーフィング～何故リーダーシップを学ぶのか	授業目的や講義概要とレポート作成・提出の説明、成績評価の方法と基準を説明します	☐
第2回	リーダーシップとマネジメントの違いとは	リーダーとマネジャーの役割や機能の違い、企業行動において、いつリーダーシップが求められるのかを理解します	☐
第3回	ビル・ゲイツとスティーブ・ジョブスは同じタイプのリーダーか	様々なリーダーのタイプやスタイルを実在したリーダーをあてはめ考察し、いわゆるボスとリーダーの違いを理解します	☐
第4回	グループダイナミズムとは何か	リーダーシップとフォロワーシップ、個人と組織の相互影響を考察し、現代におけるリーダーシップの鍵となる3要素を理解します	☐
第5回	リーダーシップの条件適合理論とはどういう考え方か	PM理論、特性理論、行動理論など、20世紀のリーダーシップに関する理論を通じて、当時の論点を理解します	☐
第6回	サーバント・リーダーシップやオーセンティック・リーダーシップとは何か	変革型リーダーシップ論など、1990年代に提唱され、現在も重視されるリーダーシップ理論を理解します	☐
第7回	ティール組織とはどういう組織か、シェアード・リーダーシップとは何か	様々な組織・集団形態を理解し、リーダーシップを育む組織、阻む組織について考察します	☐
第8回	前半まとめ	講義前半の振り返りとキーワードを復習します	☐
第9回	項羽は何故敗れ、曹操は何故成功したのか	中国古典から、先人のリーダー哲学を学びます	☐
第10回	訊く力（質問力）と伝える力（説得力）はなぜ重要なのか	リーダーシップとコミュニケーション・スキルの相関性を考察します	☐
第11回	ジョハリの窓とは何か	リーダーシップを獲得するためには自身の何を考える必要があるのかについて考察します	☐
第12回	リーダーが磨くべきEQ・DQとは何か	マインドフル・リーダーとは何が優れているのか。直観力や大局観が何故重要なのかを考えます	☐
第13回	ピグマリオン効果やゴーレム効果とは何か	人を大切に経営とは何か。真の働き方改革について考察します	☐
第14回	成功するリーダーの共通点とは	リーダーに求められる条件や、リーダーになるためのステップについて考察します	☐
第15回	後半まとめ	講義後半の振り返りとキーワードを復習します	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
初回と前後半のまとめ講義日以外は、必ずテーマ（主要な問い）について2時間程度予習し、その内容をレポートに記入できるように準備してください。講義後は、講義前で調べた予習内容と講義内容を照らし合わせ、新たな疑問点を抽出するなど2時間程度復習することで、テ

マやキーワードの内容の理解を深めてください。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回所定のフォーマットを配布します。(1) 講義開始直後に予習した内容を記入。(2) 講義終了前に自身の予習内容と講義内容の比較検討を行い、学びのポイントを整理し記入し提出。フォーマットには講義への要望なども記載可能ですので、教員とのコミュニケーションが図れます。記入内容は添削・採点の上、翌週の講義時間に返却しフィードバックを行います。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019国際ビジネスDP1	国際化時代にふさわしい、リーダーシップとマネジメント、フォロワーシップに関して、主体的に知識と技能を身につけている

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

平常評価とは出席点ではありません。毎回のミニレポート（配布フォーマットへの記入と提出）内容を評価します。期末課題として、「自身の考えるリーダーシップ像」についてレポートを課します。特にフォロワーとのコミュニケーションの在り方、結果をだすリーダーシップを発揮するために、自身の特性をどのようにいかし行動するかについて記述します。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ありません。教員が毎回スライド及び配布資料を用意します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	【新版】グロービスMBAリーダーシップ, グロービス経営大学院, (ダイヤモンド社;2014/4/18)	978-4-478-00274-2
2	最強のリーダーシップ理論集中講義, 小野善生, (日本実業出版社)	978-4-534-05034-2
3	リーダーシップ入門, 金井壽宏, (日本経済新聞社)	978-4532110536
4	M. M. チェマーズ, リーダーシップの統合理論 (北大路書房)	978-4762821349
5	ジョン・P・コッター『リーダーシップ論』[ダイヤモンド社]1997年	978-4-478--01339-7